店舗工事設計図自動化システム

今日、メールで届いた物件資料です。



受領した物件資料

公開用に固有情報と資料の文字をマスキング・ぼかし加工

ファサードと入口のパース



入口のガラス越しに、コテを吊った照明と白く光る「ど」、金色の壁と深緑タイルが見える。

図面目録・設計条件

図面目録

A-001　家具配置・平面図／1:50
A-002　天井伏図・照明計画／1:50
A-003　厨房設備・デシャップ平面／1:25
A-004　寸法・動線照合図／1:50・1:25
A-101　客席・入口面展開図／1:50・1:30
A-201　A-A／B-B 断面図／1:50
A-301　鉄板卓・収納ベンチ詳細／1:10・1:25・1:2
S-001　仕上・設備仕様表

平面図の根拠

案1の客席3＋3＋2列、入口、厨房、既存便所・前室・PSの位置を使用。
図示区画は推定間口5,400×奥行12,400。物件資料記載面積は68.41㎡。
壁、柱、既存開口、前室建具は案1読み取り。現地採寸で照合。
奥側厨房は約16.4㎡。見込み面積と設備スペースは現場で確認。

設計検討値

天井高さCH2,800、建具の高さ、設備の高さと取付位置を意匠検討値とする。
濃色木調、深緑艶ありタイル、濃灰壁。外周下がり天井は意匠検討値。
発注・施工時に機器、換気、給排水、電気、内装下地を承認図で照合。

計画席数	8卓 × 4席＝32席
卓寸法	W1,100×D800／天板 FL+730
鉄板・排気	鉄板面 FL+720、短手両端グリル
ブース内法	1,780×1,125、腰壁天端 FL+1,000
収納ベンチ座面	台 FL+435、黒レザー座面 FL+460
主通路（案1表記）	963／962、便所通路 850
デシャップ台	W2,050×D300、天端 FL+1,165
デシャップ暖簾	黒色 丈250、下端 FL+1,700
ペンダント	φ130 球中心 FL+1,780／1,970、計16灯
客席外周の下がり天井	W420、下端 FL+2,520、落ち280
入口脇のガラス化	W3,248×H2,000、下端 FL+450
入口の吊り照明	コテ吊り照明 φ620、下端 FL+2,130

出典　支給の1階平面案。区画・取付・天井寸法は現場照合。

家具配置・平面図



客席・入口

T01〜T08　1卓4名、計32席。
上段2卓・中央3卓・下段3卓。
ブース内法1,780×1,125。腰壁H1,000。
入口は通り側。
入口面ガラス化の範囲はA-101。
〇A／〇BはA-201の切断位置。

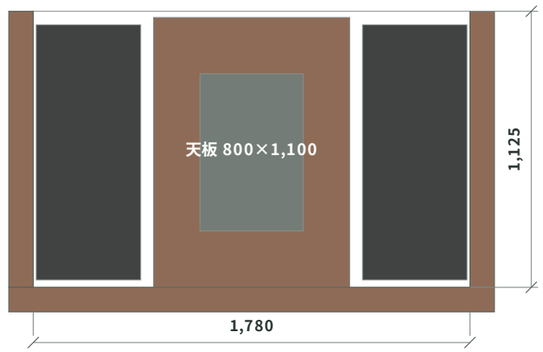
厨房・サービス

デシャップ台 W2,050、下部棚D300。
入口脇にPOS、厨房前にSSを配置。
既存WCと前室は案1の位置を使用。
厨房機器と寸法照合はA-003、A-004参照。

現場照合

躯体、柱、既存開口、建具開きを実測。
通路見付・什器の突出と運用を確認。
排気ダクト・グリストラップ位置を確認。

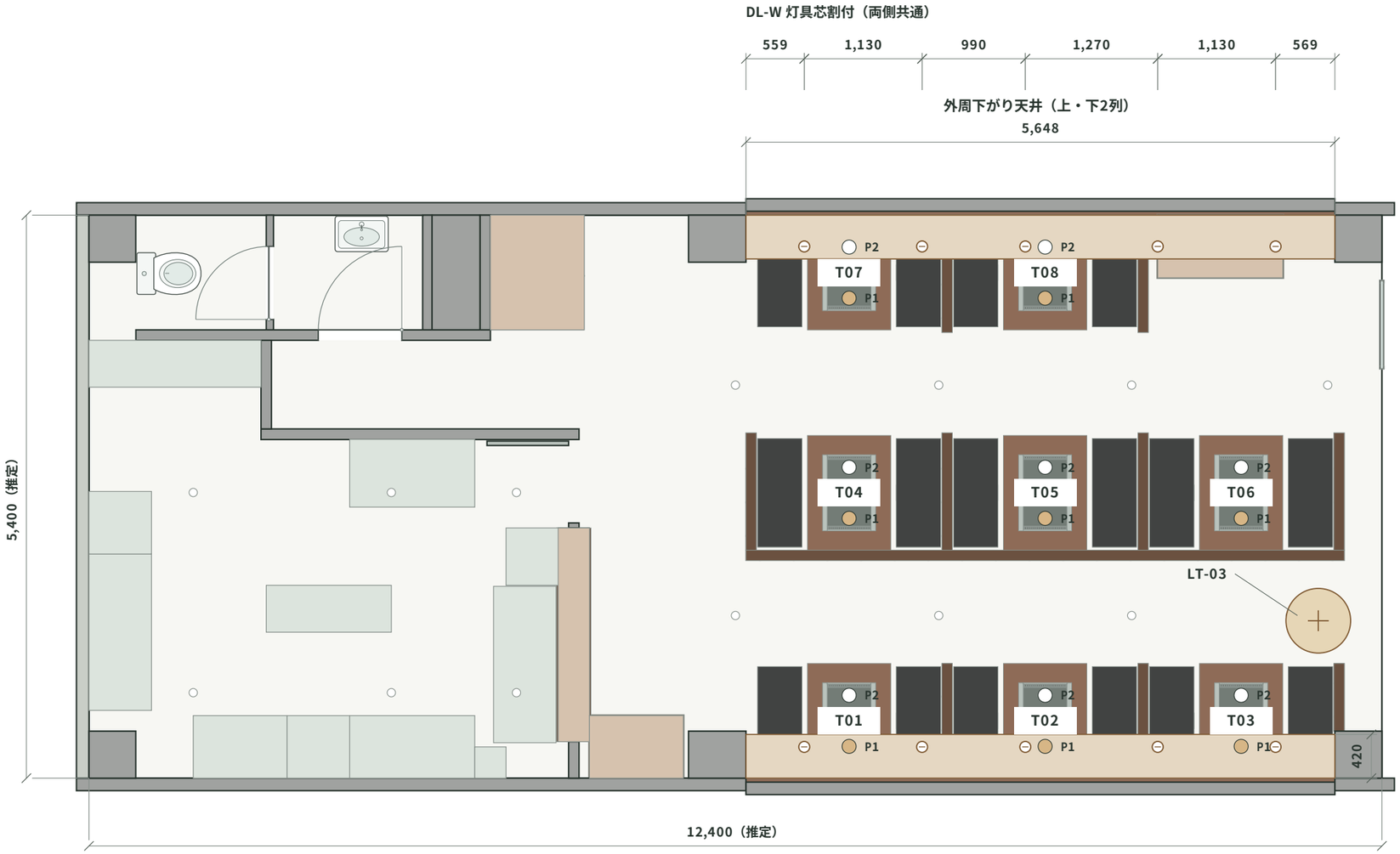
中央ブース　寸法詳細 1:25



腰壁厚100、既存壁側は仕上面から再照合。

出典　支給の1階平面案。区画・取付・天井寸法は現場照合。

天井伏図・照明計画



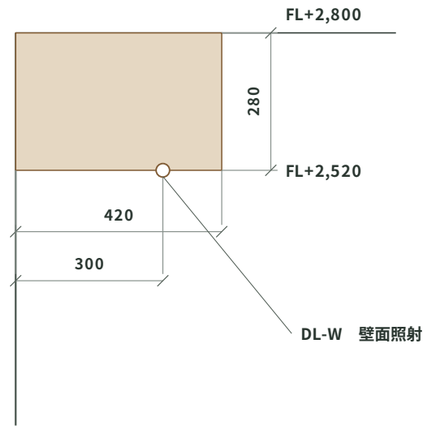
天井・灯具

天井仕上下面 FL+2,800（検討値）。
下がり天井 W420／下面 FL+2,520。
DL-W：壁寄りダウンライト、上下各5灯。
壁から芯300、配光は柔らかく壁へ。
P1／P2：球中心 FL+1,780／1,970。
球形 φ130・各卓2灯。取付面は図示位置。

取付・配線

照明器具の配光、回路、取付下地を確認。
既存梁・天井内の設備位置を実測。
LT-03・窓の発光シンボルの回路を確保。
吊り補強・配線・設備の干渉を現地照合。

外周下がり天井　部分断面 1:12.5

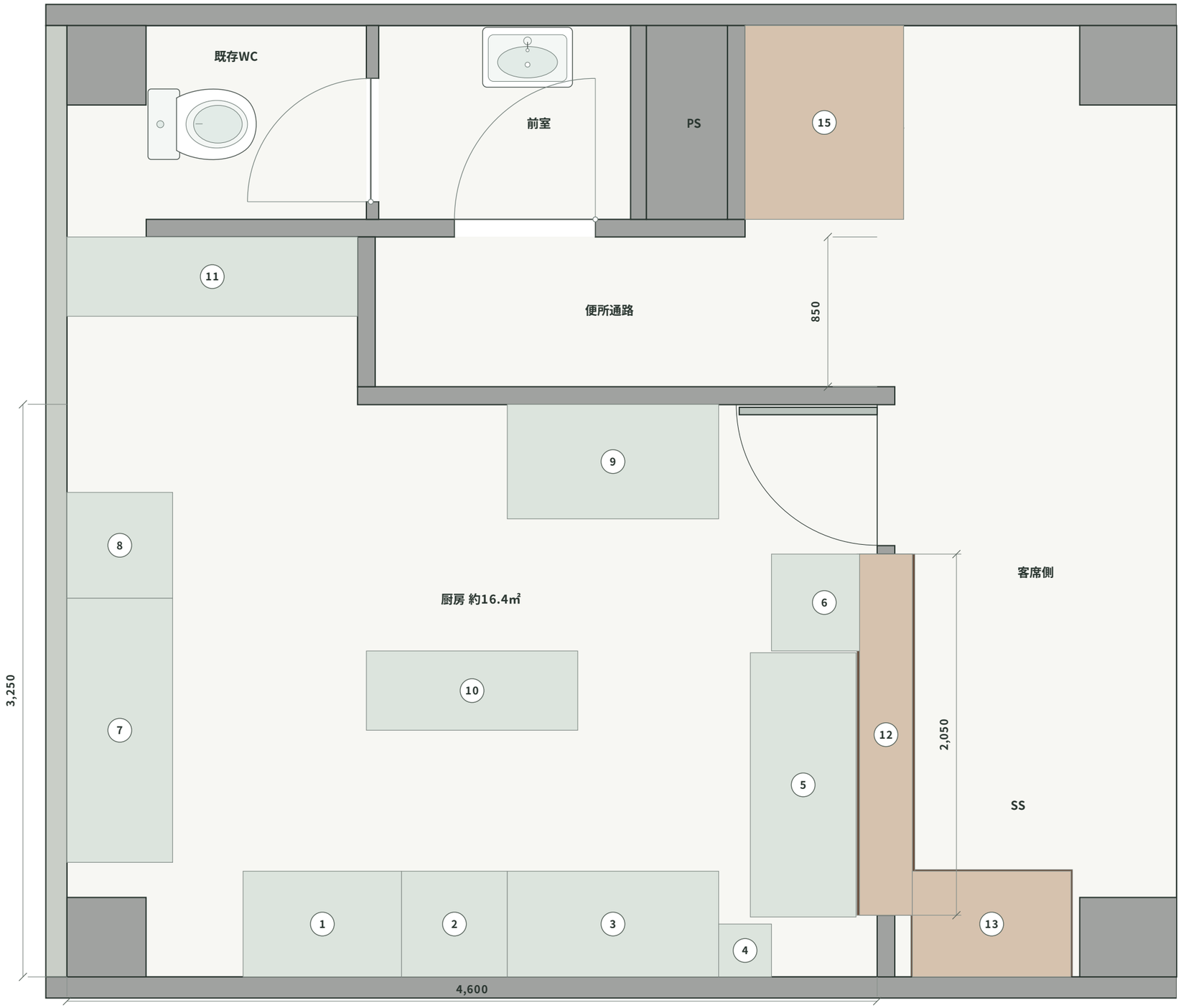


LT-03 入口のコテ吊り照明

最大 φ620。取付 FL+2,800、最下端 FL+2,130。
芯は入口面より610、平面図の下側の壁面から1,510。取付補強を確認。

出典　支給の1階平面案。区画・取付・天井寸法は現場照合。

厨房設備・デシャップ平面



厨房機器・什器（No.5改訂）

		W×D
1	ガスレンジ（上部フード）	900×600
2	食器洗浄機	600×600
3	2槽シンク	1,200×600
4	手洗器	300×300
5	台下冷蔵庫 RT-150SNJ	1,500×600
6	ビールサーバー台	550×600
7	縦型冷凍冷蔵庫	1,500×600
8	製氷機	600×600
9	冷蔵ショーケース	1,200×650
10	作業台（中央）	1,200×450
11	スチールラック（厨房収納）	1,650×450
12	デシャップ台（下部棚D300）	2,050×300
13	SSカウンター（下げ台）	900×600
14	レジ台（POS）	1,200×600
15	客席側収納（SS用）	900×1,100

取合い条件

デシャップ天端 FL+1,165・棚D300。
垂れ壁下端 FL+1,950。黒暖簾丈250。
暖簾下端FL+1,700／下の開口535。
No.5 台下冷蔵庫 W1,500×D600×H800。
No.12の棚まで本体20／No.6まで10。
No.10との離れ980。扉作動はA-004。
実機の放熱・清掃、排水、口元を照合。

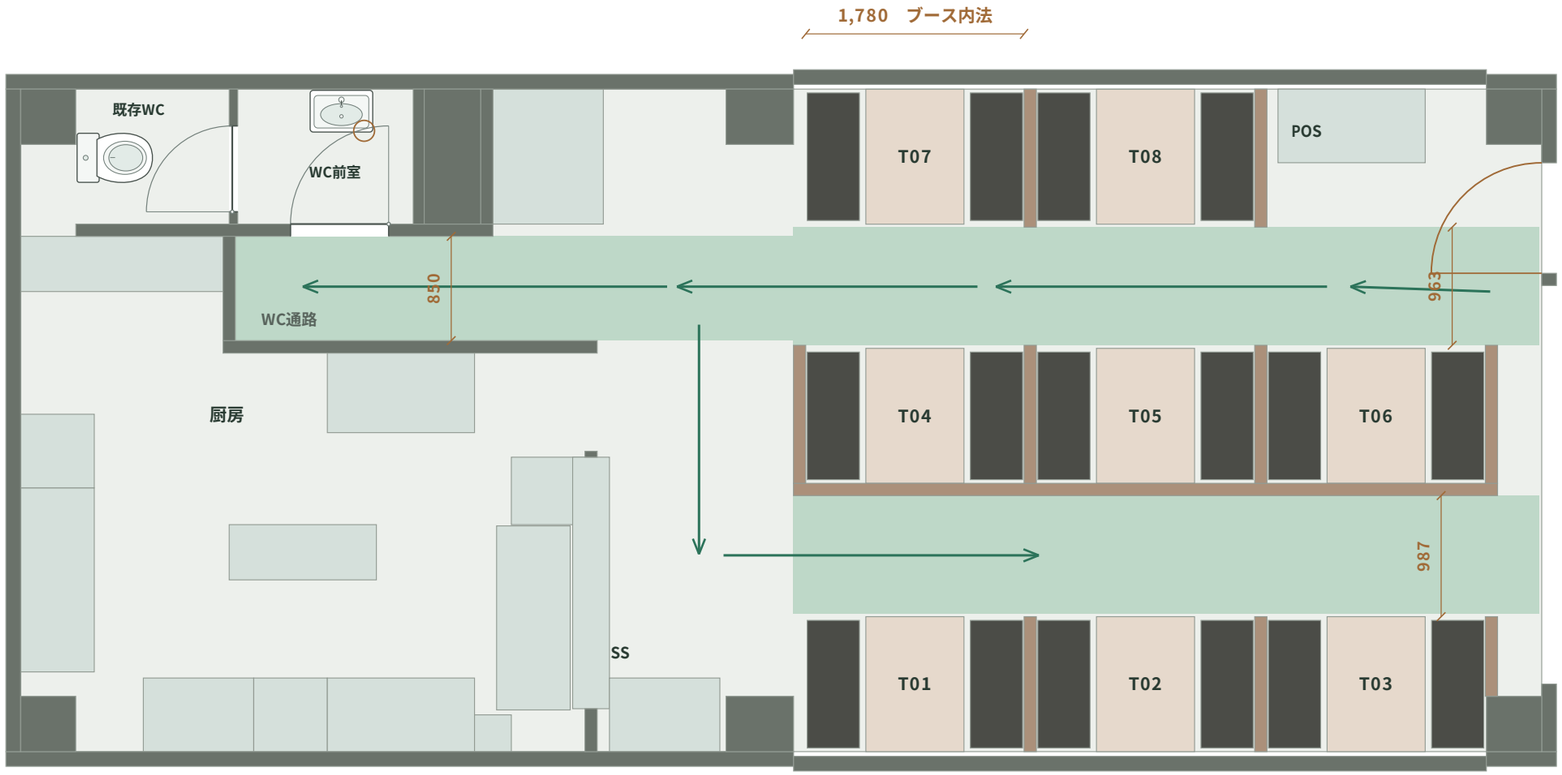
No.14 レジ位置はA-001。

メーカー製品情報　ホシザキ RT-150SNJ

出典　支給の1階平面案。区画・取付・天井寸法は現場照合。

寸法・動線照合図

案1の寸法とモデルを照合。図上の代表値、取合いの接近部、現地測定箇所を示す。



1:50　　緑は客用動線と幅の確認位置　　入口扉は閉位置から90 ° までの図上軌跡

面積と区画寸法の前提

物件資料の区画面積　68.41㎡
原図の推定矩形　12,400×5,400＝66.96㎡
差は1.45㎡。面積の算定境界は現地資料と照合。
長辺は区間内訳12,300と総寸12,400を現地照合。

客席・入口・WC

客席主通路　案1は962／963、モデル代表987／963。
WC通路850。入口開口900・モデル枠内838。
中央島東端は壁まで360。2本の主通路は厨房側で接続。
ブース内法1,780×1,125。笠木天端 FL+1,000。
入口全開時の島側局部は図上587。戸先まわりを採寸。

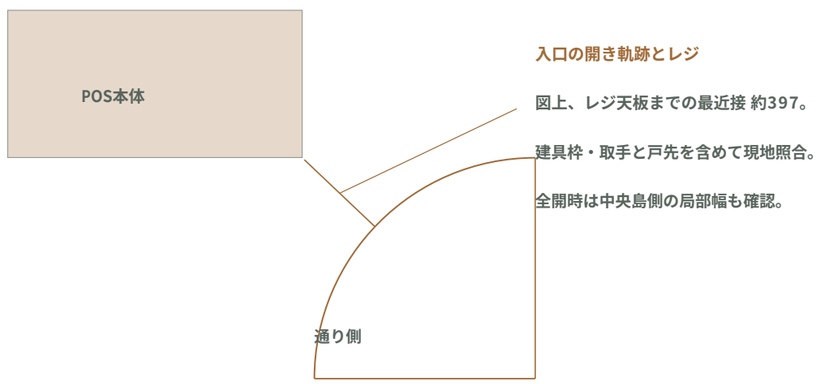
作業・着座断面

鉄板卓 W1,100×D800。天板FL+730、鉄板FL+720。
座面FL+460。天板との高低差270。
デシャップ開口H785。黒暖簾H250、裾下H535。
CH2,800は検討値。梁下・設備下を測って更新。

取り合いと現地確認

WC前室の仮扉軌跡と手洗い角が図上最大約39mm交差。
前室の建具勝手・器具位置を実測し、有効幅を確認。
壁際5卓は壁を仕上がり基準とし、T03腰壁は柱面止め。
窓の開口範囲と既存躯体・サッシの取り合いはA-101。

01　入口扉とレジ台　1:25



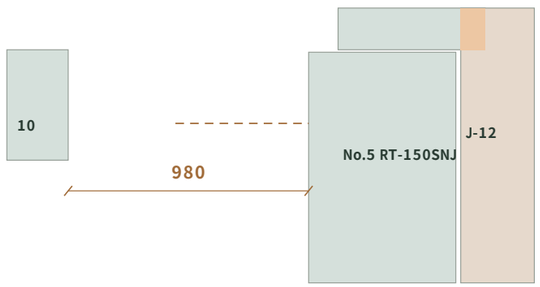
入口の開き軌跡とレジ

図上、レジ天板までの最近接 約397。

建具枠・取手と戸先を含めて現地照合。

全開時は中央島側の局部幅も確認。

02　台下冷蔵庫・中央作業台・下棚　1:25



台下冷蔵庫の本体・扉突出

閉時：本体980／取手先954。

対向物と重なる場合、

90 ° 開扉時の図上残り 約437。

J-12へ本体20、No.6へ10。

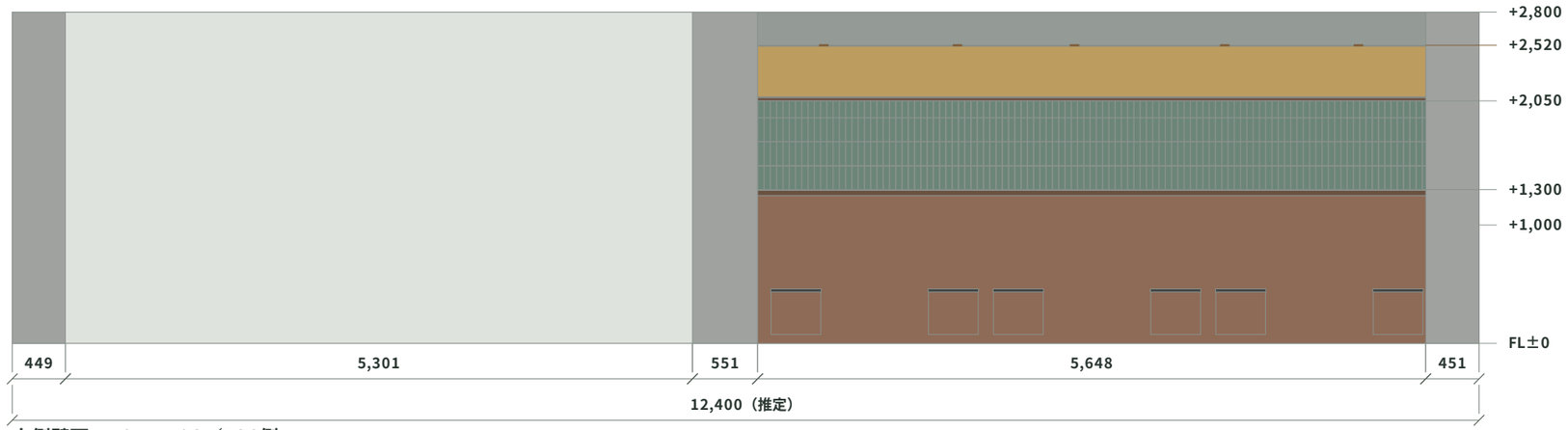
必要放熱・保守空間は実機で照合。

No.6とJ-12は側板切欠きで取合い（製作確認）。

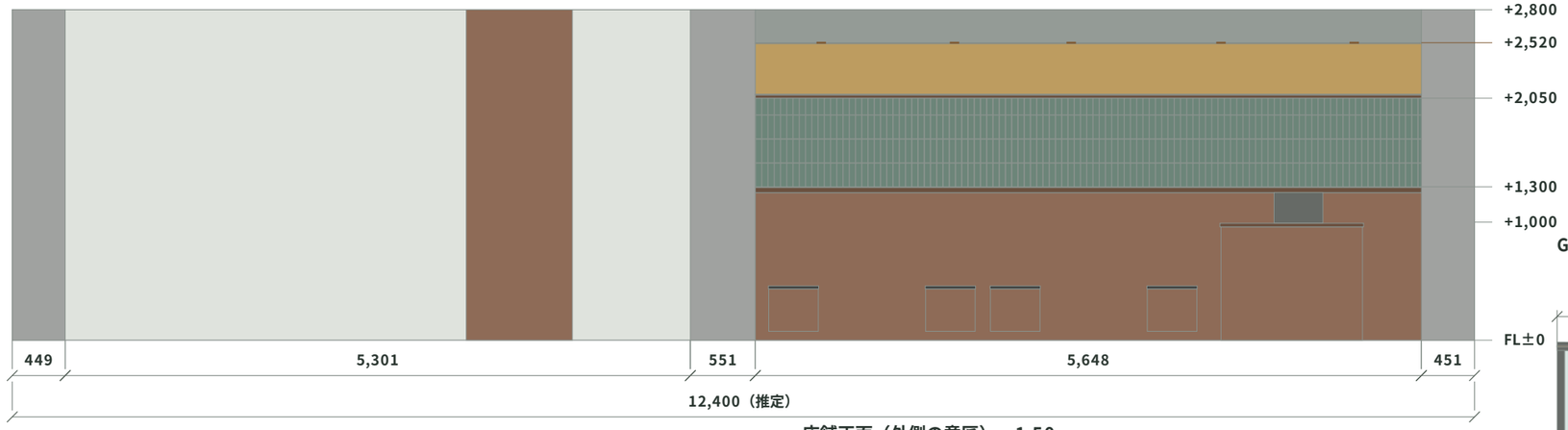
出典　支給の1階平面案。記載幅は図上値。

客席・入口面展開図

下側壁面　T01〜T03



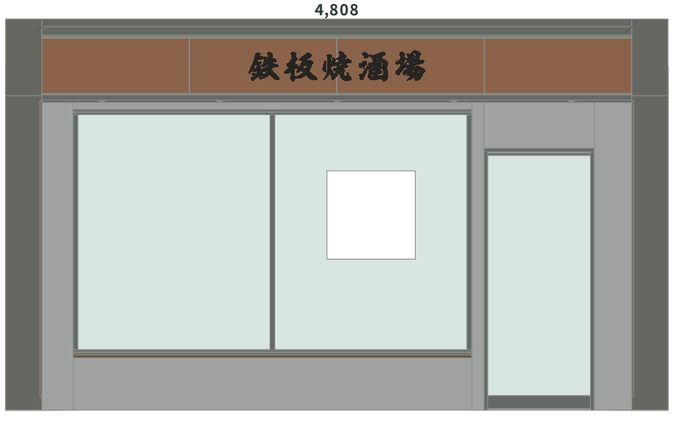
上側壁面　T07〜T08／POS側



入口面（店内側）



店舗正面（外側の意匠）　1:50



外壁・街路は意匠検討。躯体とサッシを実測して照合。

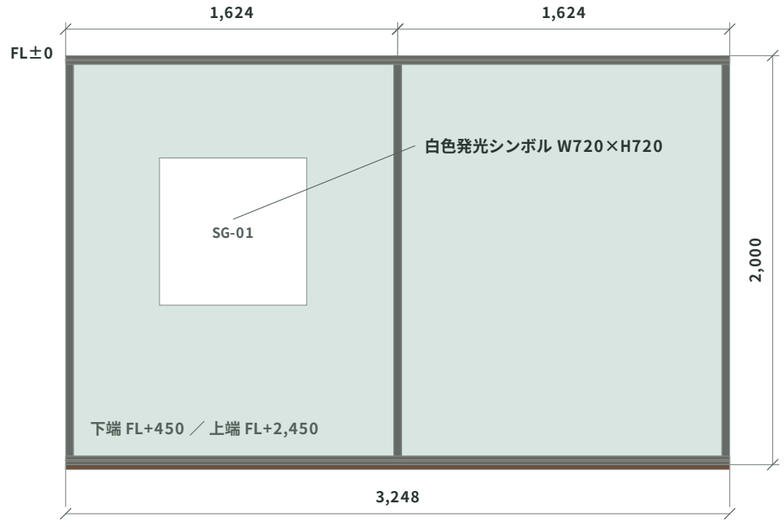
客席展開

W-01 濃色ダークブラウン。
W-02 タイル W50×H200、目地3。
W-03 一般壁 濃灰つや消し。
W-04 金色仕上 FL+2,076〜2,520。
見切り上下は古美真鍮色、見付8。
腰壁笠木 FL+1,000（案1）。
下がり天井 FL+2,520（検討）。

取付・現地照合

基準は床仕上げ FL±0。
柱幅・柱面間は案1図上値。
仕上厚・躯体位置を実測。
戸枠・段差・床納まりを確認。
灯具位置と天井寸法はA-002。
GL-01の既存躯体・サッシ・防水を確認。
正面帯上端FL+3,044／木部厚見付474。
帯の出359（外壁面基準）、下面照明5灯。
業態名の黒立体文字 W1,440×H273。

GL-01 固定ガラス・SG-01 発光シンボル　1:30

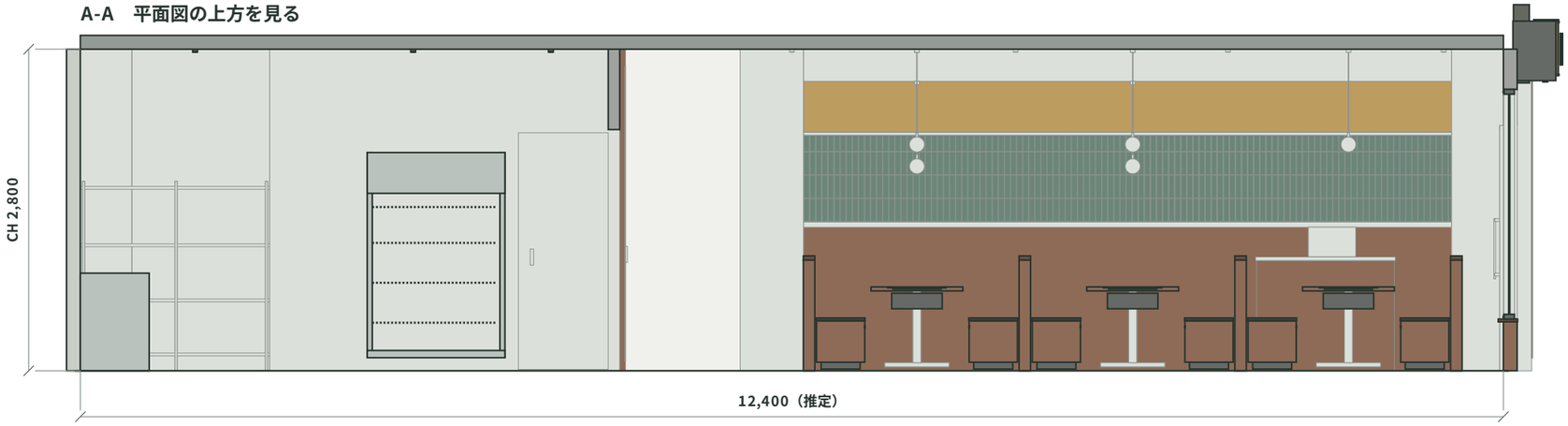


発光中心 FL+1,590。支持・配線は現地照合。

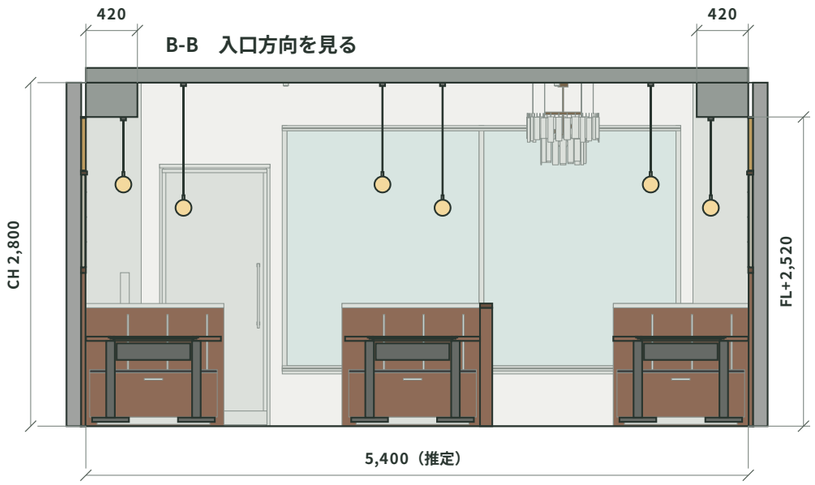
出典　支給の1階平面案。区画・取付・天井寸法は現場照合。

A-A／B-B 断面図

A-A　平面図の上方を見る



B-B　入口方向を見る



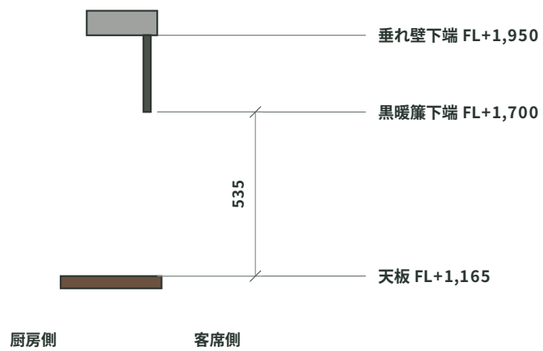
客席寸法

天井仕上下面	FL+2,800（検討値）
外周下がり天井	FL+2,520（落ち280）
金色壁面の範囲	FL+2,076〜2,520
腰壁笠木天端	FL+1,000（案1）
球形照明の中心	FL+1,780／1,970
鉄板卓天板	FL+730
鉄板面	FL+720
ベンチ台／座面	FL+435／460

厨房デシャップ

天端FL+1,165、垂れ壁下端FL+1,950、暖簾下端FL+1,700。
作業台・機器天端と暖簾の干渉、排気・吊り下地を現地照合。
太線は切断位置。切断位置・方向はA-001参照。

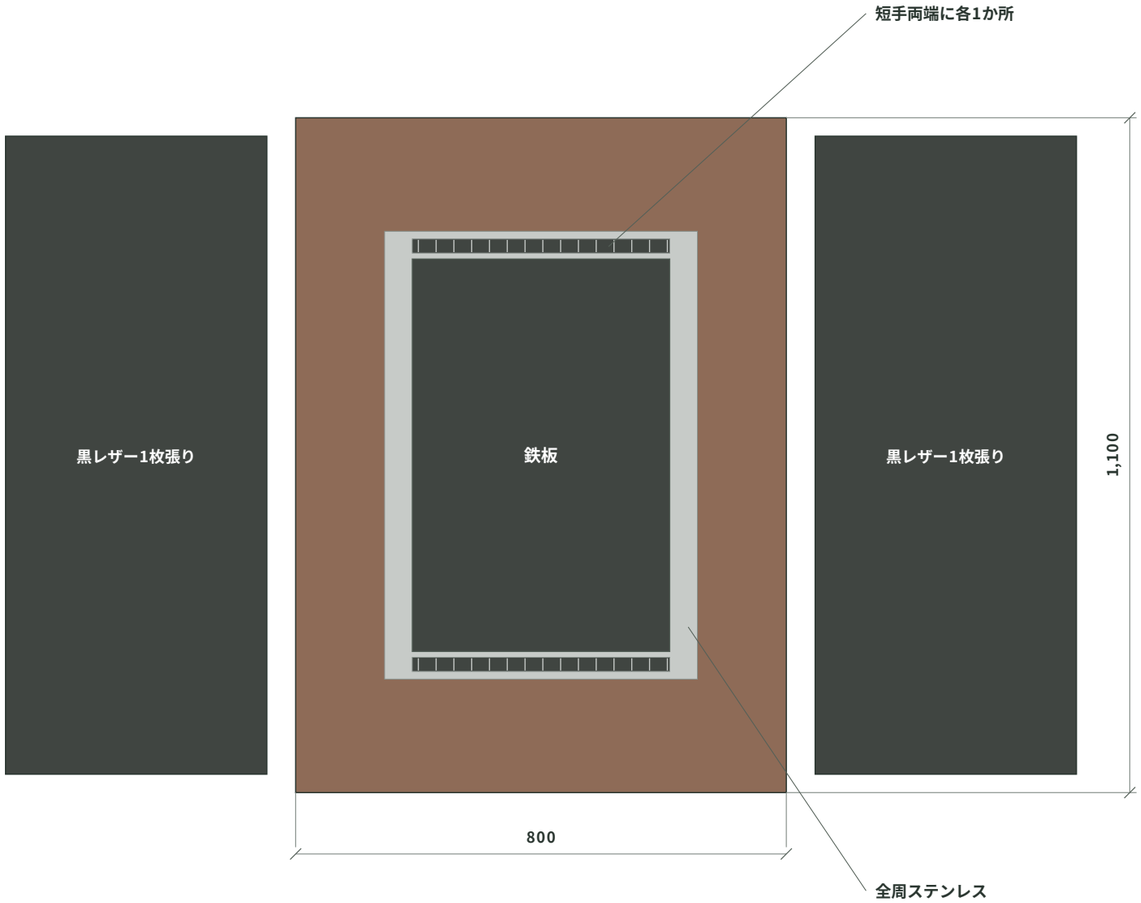
デシャップ開口　部分断面 1:20



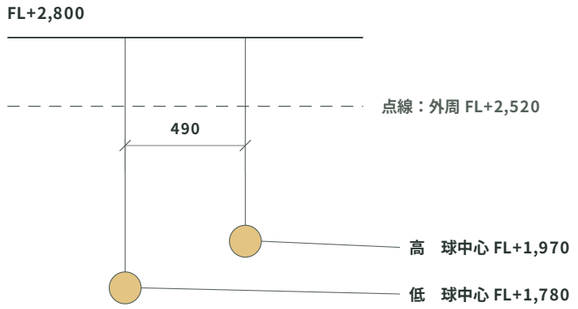
出典　支給の1階平面案。区画・取付・天井寸法は現場照合。

鉄板卓・収納ベンチ詳細

01　鉄板卓と対面収納ベンチ　1:10



02　卓・ペンダント　1:25



ベンチ・卓上

台FL+435、座面FL+460。

黒レザー1枚張り、クッションt25。

収納蓋・把手・開き止めは製作確認。

卓上は食器・調味料等を置かない表現。

03　木天板と鉄板の段差　1:2



出典　支給の1階平面案。区画・取付・天井寸法は現場照合。

仕上・設備仕様表

内装仕上と主要什器

符号	適用	意匠仕様・寸法	照合事項
F-01	客席・入口	濃灰色の石調床。	滑り・床レベル・見切りを確認。
W-01	ブース・腰壁・天板	濃色ダークブラウン木調、低光沢。	木口・木目、レザーとの色合わせ。
W-02	客席壁・柱	深緑艶ありタイル W50×H200、縦張り。	割付、目地、出隅役物を確認。
W-03	一般壁	濃い無彩色グレー・つや消し。	艶と照明の反射は現物を確認。
W-04	タイル帯より上	金色化粧仕上、FL+2,076〜2,520。	上下の見切り古美真鍮色8。反射を確認。
C-01	客席・厨房天井	客席は濃色。厨房は清掃性を考慮。	梁・設備・点検口を照合。
C-02	客席外周の下がり天井	W420×落ち280。FL+2,520。	下地、器具埋込高さと天井裏の干渉。A-002
FF-01	鉄板卓と収納ベンチ	8卓。天板FL+730、鉄板FL+720。座面FL+460。	両短手排気、全周ステンレス。A-301
LT-01	球形ペンダント	φ130×16灯。球中心FL+1,780／1,970。	高低各1台／卓。配光と吊り下地。A-002
LT-02	外周壁面照射	DL-W 10灯。外周天井内、仕上壁から芯300。	柔らかい壁面照射。配光・調光を検討。
LT-03	コテ吊り照明	φ620、取付FL+2,800／下端FL+2,130。	照明・吊り材・取付補強をA-002で照合。
LT-04	正面帯の下面照明	5灯、器具下面 FL+2,515（検討値）。	屋外仕様・電源と帯の固定を要照合。
J-01	デシャップ・黒暖簾	台 W2,050×D300、FL+1,165。暖簾丈250。	既存梁・吊り棚と配膳動作を確認。A-003
GL-01	入口脇の固定ガラス	W3,248×H2,000。下端FL+450（検討値）。	既存躯体、サッシと開口範囲を現場確認。
SG-01	白色発光シンボル	W720×H720、中心FL+1,590。	支持、配線と発光面を確認。A-101
KE-05	台下冷蔵庫	ホシザキ RT-150SNJ　W1,500×D600×H800。	単相100V。放熱・排水・清掃。A-003／004

設備引継ぎ

厨房機器・什器の寸法はA-003。ガスレンジは上部フード、洗浄機・シンク・製氷機には給排水。

厨房排気と補給気、鉄板排気系統、グリストラップ、有効離隔、清掃・点検動線を現場と設備設計で確認。

電気・ガス容量、既存設備接続点と貫通の位置は機種・貸主資料と照合して確定。

現場で照合する項目

入口・既存WC・前室・PSと躯体の確定寸法、梁下、床レベル、建具開き、有効通路幅。

機器承認図、家具・暖簾の製作図、仕上サンプル、照明の取付寸法と配線。

出典　支給の1階平面案。区画・取付・天井寸法は現場照合。